

■今年もあとわずか

日に日に寒さが身に染みる季節となりました。

今年も残すところ一月を切り、振り返りますと、コロナウイルス感染拡大により、区民の皆さまが集い・楽しい行事等が中止あるいは縮小せざるを得ない事態となり、大変さみしい年でありました。

そうした中で、祭りの際使用する、幟竿4本を糸井秀太郎さんのご好意により新調することができました。紙面をお借りして、お礼申し上げます。

また、市道渡り川線コンクリート舗装工事も、大勢の方に協力いただき古川まで舗装する事が出来、完了まであと少し、今後も協力お願いします。

最後になりましたが、今年も年末恒例となりました、三重神社越年行事「ゆく年くる年」を行います。甘酒・豚汁による参拝者接待を計画していますので、大勢の方の参拝をお待ちしています。

時節柄、お身体には十分留意していただき、新しい年を迎えていただきますようお願いいたします。

三重区長 糸井 正彦

■各種行事等

12月27～29日（火）消防団年末警戒

12月31日（木）三重神社越年行事「ゆく年くる年」

1月10日（日）消防出初式

1月24日（日）大宮町百人ミーティング（大宮町区長協議会主催）

3月21日（日）三重区民総会午後1：30～

三重・森本に秋花火

10月24日（土）午後7時半から、三重と森本地区で同時に花火が打ち上げられました。

三重・森本里力再生協議会が中心になり、コロナに負けない元気な地区を作ろうという目的で打ち上げられたものです。

あいにくの時雨模様でしたが、寒い中をたくさんの区民の方々が花火を見ようと外に出ておられました。

三重側と森本側の花火が交互に打ち上げられ、最後に同時に大きな花火が上がると、あちこちから歓声が聞こえていました。



赤米稲刈り体験



10月31日(土) 穏やかな秋晴れの空の下、
幼児を含む子供たち10名、大人22名によって
赤米の手刈りが行われました。

子供たちは大人の心配をよそに使い慣れない鎌を駆使して、稲刈りに奮闘していました。刈り取った稲を見て「雀に喰われてる！」と言う子、刈り取った稲を得意げに持ち上げてニンマリしている子、みんなキラキラしていました。5〜6年生からは「稲刈りをしてい

る間は無心です。」「去年よりは上手に刈ることができた。」という感想が聞かれました。
きれいに刈り取った後は、差し入れの赤米入りおにぎりと赤米のお茶、お漬物をみんな

11月17日(火) のびのび体操で今岡先生にお世話になりました。

私たちの身体にある「免疫」の機能。病原菌などから身体を守り、健康を維持するための防護システムです。

免疫機能が正しく作用していれば、健康で若々しくいられます。

どのようなことを心がければよいのか…

まずは、1日に10分程度の体操をするだけでもよいですから、運動の習慣をつけることが大切です。

可能ならば、うっすらと汗をかく程度の時間、散歩ができるとよいでしょう。

運動は、免疫機能を向上させる他にも、生活習慣病を予防したり、転倒を防いだり、脳を活性化させるなどの効果があります。

寄稿 糸井徳彰さん

免疫力を上げよう！



三重の憩いの場に！

11月22日(日) 三重の有志の方々が、10〜15年後三重の人たちの憩いの場になってほしいとの思いをこめて、三原神社の参道にサクラとモミジの苗木を植えました。

春には桜、秋には紅葉を眺めながらたくさんの人が集って会話が弾む光景が思い浮かびました。
苗木の成長をみなさんで見守っていききたいですね。



力作が集まりました



11月8日(日)三重文化展が行われました。
 感染症予防と対策を取りながらの開催となりましたが、52名の105作品の展出があり、また65名の方に会場に足を運んでいただきました。
 今回はくじをひいてもらいおやつセットなどのお土産もあり、みなさんに喜んでいただけました。
 作品を見ながら感想を話したり、久しぶりに出会った方々の会話も弾んだりと、マスク越しでしたがたくさん笑顔が見られました。
 たくさん素敵な作品をありがとうございました。



幟用の新竹切り



糸井秀太郎さんのご厚意で山から切り出した、幟用の真竹です。区役員と組長さんが作業されました。真竹は三重では非常に少ないとのこと。

来年の祭りで使われます。



春には花がいっぱい

10月24日(土)上三重の旧駐在所前の花壇で、ビオラの苗、チューリップの球根植えが行われました。
 1組の女性有志を中心にした方々が、農地・水・環境活動組織の補助を受けて作業されました。
 春にはきれいな花が咲くことでしょう。



寿楽会「亥の子の集い」

～三方五胡レインボーライン～

11月21日(土) 寿楽会の会員外の方3人を含む13人(平均年齢86歳)が、酔い止めの薬と「GOTOトラベル」に押され、意気揚々と小型観光バスに乗り込み、レインボーライン目指し出発。お天気にも恵まれ、三方五胡に浮かぶ「天空のテラス」から360度展望に「ころもキュン」

この日、もう一つの山場・日本海の荒波がつくりあげた長さ6キロの断崖美と奇岩・洞門が織りなすダイナミックな景観を觀賞するクルージング 蘇洞門(そとも)めぐり」遊覧船は、その荒波のため欠航。誠に残念。

代わりに「若狭工房」 箸の研ぎ出し(つや出し込み)。アワビ貝や卵の殻が埋め込まれている、若狭塗のお箸一人一膳を研ぎだして完成させ、仕上げ(半艶仕上げ)をしてもらってお土産。

GOTOのクーポン券を使ってのお土産調達に皆さん、バスの出発時間ギリギリまで大ハッスル。

この時期、最も心配だったコロナと車酔いもなく、予定より20分早く、明るいうちに皆さん、お元気に帰宅。翌々日、全員のご無事を確認。ほんとうにおつかれ様でした。

寄稿 糸井徳彰さん



いっぱいのコスモス

三重農地・水・環境活動組織で例年上三重のコスモス畑の管理をされています。

今年はいつもの年よりもたくさん花が咲き、一面コスモス色に染まりました。通りかかった人たちが車を止めて写真を撮っている光景がよく見られました。

